

2005年5月23日

## 京都大学未来フォーラム（第14回）を開催

時計台記念館・百周年記念ホールにおいて、恒例となった未来フォーラムが開催されました。14回目となる今回は、本学文学部の卒業生でSF作家の小松左京氏に「私の京大時代」をテーマでご講演いただきました。今回はいつもとスタイルを変え、聞き役として、澤田芳郎国際融合創造センター教授と本学法学部卒業でマッサーセラピストの大中咲子氏も壇上に上がり、質問を交えながらの講演となりました。

小松氏は、学生時代に指導教官であった野上素一教授や文学部の同学年であった小説家の高橋和巳さんに関するお話や、戦時中及び京大時代のいろいろなエピソードについてユーモアを交えながら語られ、時折、笑いも起こる楽しい講演となりました。集まった約290名の参加者は、小松氏が文理の枠を超えた学問を奨励する京大の学風を評価し、自身の文学と科学が融合したサイエンス・フィクション確立に影響を受けたというお話などの貴重な話に聞き入っていました。

